

I will...



I will make my dream come true with the IRON WILL.

夢の実現に向けて「鉄の意志」を持って突き進む

令和2年度 人吉市立第二中学校 学習通信

令和3年2月8日(月) NO.26



正確さを身に付けよう

3年生はいよいよ、明日から中学校最後の定期テストが始まります。また、明日は前期選抜の結果通知ですので、定期テスト後は後期選抜に向けて突き進むのみです。

今、みなさんは問題をたくさん解いていますか？また、問題を解いた後は模範解答を見て、丁寧にひとつずつの解答をおこなっていますか。実はこれは、将来みなさんが仕事をするうえで大切なことの訓練になっているのです。

みなさんの自学ノートやテスト勉強では、丸付けのミスはありませんか？間違っているのに丸を付けていることはありませんか？中には、模範解答を見ずに丸を付けているのではないかと思えるようなノートもあります。これでは正確さは身に付きません。雑にやることは、いい加減さを身に付ける練習をしていることと同じです。

仕事をする上ではミスは許されません。例えば、本当は4個なのに、間違えて千個注文してしまったら大変なことになります。それでは、どうやってミスをしない自分をつくっていくか。それは、日々の学習の中でミスを減らしていくことです。まず、単純なミスを減らす。それに加えて、面倒くさげらずにきちんと模範解答を見て、確認しながら丸付けをする。この作業が、きちんとした、ミスの少ない自分をつくることになるのです。

自分で問題を解いて、自分で丸付けをおこなう。こういう自己管理能力は、中学時代までに身に付けなければならない力であり、将来仕事をする上でなくてはならない力です。丸付けを間違えるようでは正確な仕事はできません。学習は知識だけでなく、正確に仕事をやり遂げる力もつけてくれるのです。



正確さの練習法

- ノートは正しい姿勢で、適度な筆圧で書こう。
- 模範解答をきちんと見よう。確認作業が正確さをつくります。
- 「正解しているだろう」は危険です。間違いが見抜けません。慢心や思い込みは、失敗のもとです。
- 正解はきちんと書こう。きちんと書くことで「いい加減さ」をなくそう。
- 自分で再テストを設定して、本当に解けるようになったのかを、自分で確かめよう。

学習も仕事も正確にできる自分を、今つくろう